



第110・111・112号 (昭和44年1月・2月・3月)

目 次

関係法令	1
学内規則	1
富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則	
富山大学薬学部規則の一部を改正する規則	1
諸会議	2
人事異動	5
学内諸報	6
大学紛争の経過	6
三橋監物学長事務代理の就任	6
横田学長の辞任	6
竹内豊三郎学長事務取扱の就任	7
昭和44年度入学試験	7
教育学部長の改選	8
教育学部附属中学校長の改選	8
学内囲碁大会の開催	8
教官の外国出張	8
学位取得者	8
職員消息	8
主要日誌	9

関係法令

政 令

昭和43年における特定地域に係る激甚災害の指定及びこれに対し適用すべき措置等に関する政令 (13)	2.18
食糧管理法施行令の一部を改正する政令 (19)	3.10
予算決算及び会計令の一部を改正する令 (23)	3.15
義務教育費国庫負担法第二条但書の規定に基づき教職員給与費の国庫負担額の最高限度を定める政令の一部を改正する政令 (27)	3.18

府 令

人事統計報告に関する総理府令の一部を改正する総理府令 (総理1)	1.14
内閣及び総理府所管旅費取扱規則の一部を改正する総理府令 (同2)	1.27

省 令

債権管理事務取扱規則の一部を改正する省令 (大蔵1)	2.1
資金運用部地方資金融通規則等の一部を改正する省令 (同2)	2.7
学位規則の一部を改正する省令 (文部1)	3.5
国の会計帳簿及び書類の様式に関する省令の一部を改正する省令 (大蔵8)	3.15
教科用図書検定規則の一部を改正する省令 (文部2)	3.26
国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令 (大蔵12)	3.29
日本学校安全会法施行規則の一部を改正する省令 (文部5)	3.31
診療エックス線技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令 (文部・厚生1)	〃

規 則

計算証明規則の一部を改正する規則 (会計検査院1)	2.1
特殊勤務手当の一部を改正する規則 (人事院9-30)	2.21
採用試験の一部を改正する規則 (同8-18)	3.22
隔遠地手当の一部を改正する規則 (同9-31)	3.29

訓 令

内閣及び総理府所管国有財産取扱規則の一部を改正する訓令 (総理1)	2.17
国立大学の附属図書館に置く分館を定める訓令の一部を改正する訓令 (文部1)	3.31

告 示

技能教育のための施設を指定した件 (文部1)	1.9
管理栄養士養成施設に関する件 (文部・厚生1)	1.27
昭和44年度において発注する土木建築に関する工事、施設等の解体運搬に関する工事及び造園造林等の工事又は物品の製造、物件の買入れ若しくは立木竹の売払いの一般競争及び指名競争に参加する者に必要な資格、資格審査の申請の時期及び方法等を定めた件 (文部2)	1.28
昭和40年度以降の学校基本調査の調査票及び集計表の提出期限を定める等の件の一部を改正する件 (同3)	2.5
教科用図書検定申請受理種目及び定価認可基準の一部を改正する件 (同4)	2.8
重要無形文化財の保持者が死亡したので当該保持者の認定等を解除された件 (同5)	2.10
指導教員養成機関が廃止された件 (同6)	〃
指導教員養成機関の名称を変更する旨の届出があった件 (同7)	〃
昭和44年度において使用される小学校、中学校及	

び高等学校の教科書の定価を認可した件（同8）	〃	（人事院中部事務局長）	2.18
昭和44年度原子力平和利用研究委託費に係る試験研究題目及び申請書の提出期限を定める件（科学技術庁3）	2.17	国家試験 採用候補者名簿の失効（人事院）	2.20
昭和44年度原子力平和利用研究費補助金に係る試験研究課題及び申請書の提出期間を定める件（同4）	〃	同 昭和43年度学芸員試験認定合格者及び無試験認定合格者（文部省）	3.29
技能教育のための施設を指定した件（文部9～32）	2.19	公 示	
昭和44年度民間学術研究機関補助金交付申請書及び添付書類の提出期限を定める件（同33）	〃	職員の免職処分	2.19
京都市歴史的風土保存区域を指定する告示の一部を変更する件（総理6）	2.24		
短期大学の名称を変更する旨の届出があった件（文部34）	3.3		
激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律施行令の規定により昭和43年に発生した激甚災害に係る市町村を告示（同1）	3.7		
史跡綾羅木郷遺跡を指定する件（同35）	3.11		
文化財を重要文化財に指定する件（同36）	3.12		
重要文化財の管理団体を指定する件（文化庁1～3）	3.13		
大学の設置を認可した件（文部37.38.68）	〃		
短期大学の設置を認可した件（同39～44.69）	〃		
大学の学部の設置を認可した件（同45～49）	〃		
短期大学の学科の設置を認可した件（同50～67, 70, 71）	〃		
短期大学における通信教育の開設を認可した件（同72）	〃		
昭和44年度科学研究費補助金（奨励研究(B)）の計画調書の提出期間を定める件（同73）	3.20		
昭和45年度用として発行しようとする教科書の書目の届出の時期を指示する件（同74）	3.25		
短期大学の名称を変更する旨の届出があった件（同75）	〃		
技能教育のための施設を指定した件（同76～99）	3.28		
博物館に相当する施設を指定した件（同100）	3.29		
官庁報告			
日本学士院会員候補者の推薦について	1.18		
学位授与（文部省）	1.20		
昭和32年人事院公示第5号の一部改正に関し決定した件（人事院公示1）	1.23		
昭和32年人事院事務総局公示第1号の一部改正に関し決定した件（人事院事務総局公示1）	〃		
昭和43年度第2・4半期における国庫の状況報告（内閣）	2.10		
昭和43年度第2・4半期における予算使用状況報告（同）	2.17		
昭和43年度国家公務員採用中級試験最終合格者			
		議 会 議	
		第20回 評議会（1月13日）	
		（議題）	
		1. 昭和44年度学生入学定員の取扱について	
		2. その他	
		第21回 評議会（1月27日）	
		（議題）	
		1. 昭和43年度卒業式および修了式ならびに昭和44年度入学式について	
		2. 富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則（案）について	
		3. 大学問題について	
		4. その他	
		第22回 評議会（1月29日）	
		（議題）	
		1. 大学問題について	
		第23回 評議会（2月6日）	
		（議題）	
		1. 昭和44年度入学試験の実施について	
		2. 教官の特別昇給定数の追加配分について	
		3. その他	
		第24回 評議会（2月21日）	
		（議題）	
		1. 大学問題について	
		2. 学長事務代理の代行について	
		3. その他	
		（報告）	
		1. 昭和44年度富山大学大学院薬学研究科第2次入学者選抜試験の合格者について	
		2. 昭和43年度富山大学大学院修士学位記授与式ならびに昭和44年度大学院入学式について	
		第25回 評議会（2月24日）	
		（議題）	
		1. 大学問題について	
		第26回 評議会（3月3日）	
		（議題）	
		1. 昭和43年度卒業式について	
		2. 大学問題について	
		第27回 評議会（3月7日）	

(議題)

1. 当面の問題について

第28回 評議会 (3月11日)

(議題)

1. 当面の問題について

第29回 評議会 (3月17日)

(議題)

1. 昭和43年度卒業者の認定について

2. 富山大学薬学部規則の一部を改正する規則(案)について

3. 教官人事について

4. 当面の問題について

(報告)

1. 昭和43年度富山大学大学院修士課程修了者について

2. 昭和44年度富山大学大学院工学研究科第2次入学者選抜試験の合格者について

3. 昭和43年度大学院修士学位記授与式のとりやめについて

第1回 協議会 (2月24日)

(議題)

1. 学長の辞任について

第2回 協議会 (2月26日)

(議題)

1. 学長事務取扱の選考について

第3回 協議会 (2月27日)

(議題)

1. 学長事務取扱の選考について

学 内 規 則**富山大学教育学部附属学校規則の一部改正**

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和44年1月27日

富山大学長事務代理 三橋監物

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部附属学校規則(昭和41年1月17日制定)の一部を次のように改正する。

この規則中、「及び」を「および」に、「又は」を「または」に改める。

第2条中「初等普通教育、中等普通教育又は幼児の保育を施すとともに、」とあるを、「初等普通教育、中等普通教育、特殊教育または幼児の保育を施すとともに、」に改

める。

第8条の表を次のとおり改める。

区 分	学級数	学級定員	入学定員	総定員	
小学校	普通学級	12	40名	80名	480名
	特殊学級	1	15名	15名	15名
中学校	普通学級	11	50名	200名	550名
幼稚園	普通学級	2	35名	35名	70名

第12条第1項中「小学校にあつては300円、中学校にあつては450円の検定料を徴収する。」を「小学校にあつては600円、中学校にあつては900円の検定料を徴収する。」に改める。

同条第2項中「入園料として450円、」を「入園料として1200円、」に改める。

附 則

1. この規則は、昭和44年1月27日から施行し、昭和43年4月1日から適用する。

2. 第12条第1項の改正規定は、昭和42年度以降に入学する者の選抜から適用し、同条第2項の改正規定は、昭和41年4月1日以降に入学する者に係るものから適用するものとする。

富山大学薬学部規則の一部改正

富山大学薬学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和44年3月17日

富山大学長事務取扱 竹内豊三郎

富山大学薬学部規則の一部を改正する規則

富山大学薬学部規則(昭和40年1月22日制定)の一部を次のように改正する。

第9条中「専門教育科目については92単位以上」を「専門教育科目については87単位以上」に、「合計155単位以上」を「合計150単位以上」に改める。

別表のうち専門教育科目の表を次のとおり改める。

(別紙のとおり)

附 則

1. この規則は、昭和44年3月17日から施行し、昭和43年4月1日から適用する。

2. 昭和43年度において2年次、3年次および4年次の学生については、この規則の施行にかかわらず、なお従前の例による。

専 門 教 育 科 目

薬 学 科…必修科目 62単位・選択科目 25単位以上
 製薬化学科…必修科目 64単位・選択科目 23単位以上
 合計87単位以上を履修取得しなければならない。

薬学科	製薬化学科	区 分	授 業 科 目	単 位 数	薬学科	製薬化学科	区 分	授 業 科 目	単 位 数
○	○	一般基礎薬学	応 用 数 学	2	○	○	専門薬学	薬 局 方 概 論	2
○	(必)	〃	基 礎 量 子 化 学	2	○	○	〃	薬 品 製 造 化 学Ⅱ	2
(必)	(必)	〃	基 礎 物 理 化 学Ⅰ	2	○	○	〃	生 薬 学Ⅰ	2
(必)	(必)	〃	〃 Ⅱ	2	○	○	〃	衛 生 化 学Ⅰ (公衆衛生を含む)	2
(必)	(必)	〃	化 学 分 析 学	2	○	○	〃	薬 事 衛 生 法 規	1
(必)	(必)	〃	物 理 分 析 学	2	○	○	〃	微 生 物 薬 品 製 造 学	1
(必)	(必)	〃	有 機 化 学	5	○	○	〃	薬 剤 学Ⅰ	2
(必)	(必)	〃	無 機 化 学	1	○	○	応用薬学	薬 学 概 論	1
○	○	〃	推 計 学	1	○	○	〃	薬 学 文 献 学	1
(必)	○	〃	病 原 微 生 物 学	1	△	○	〃	物 理 化 学Ⅱ	2
(必)	(必)	〃	基 礎 生 化 学	2	○	(必)	〃	構 造 有 機 化 学Ⅰ	2
(必)	(必)	〃	細 胞 生 物 学	2	△	○	〃	〃 Ⅱ	2
(必)	(必)	〃	細 胞 化 学	2	△	○	〃	電 子 工 学	2
(必)	(必)	〃	基 礎 薬 理 学	2	△	○	〃	化 学 工 学	2
(必)	(必)	〃	放射化学 放射線保健学	1	○	△	〃	和 漢 生 薬 学	2
(必)	○	〃	基 礎 医 学	3	○	△	〃	衛 生 化 学Ⅲ	1
(必)	○	専門基礎薬学	分 析 化 学	2	○	△	〃	病 態 生 化 学 (臨床試験法を含む)	2
(必)	○	〃	生 薬 学Ⅱ	2	○	△	〃	薬 局 管 理 論	1
(必)	○	〃	生 物 化 学	2	○	△	〃	薬 品 作 用 学Ⅰ	2
(必)	○	〃	衛 生 化 学Ⅱ	2	(必)	(必)	演 習		2
(必)	○	〃	薬 剤 学Ⅱ	2	(必)	(必)	実 習	有 機 化 学 系 実 習	3
(必)	○	〃	薬 品 作 用 学Ⅰ	2	(必)	(必)	〃	分 析 化 学 系 実 習	2
○	(必)	〃	薬 化 学	2	(必)	(必)	〃	物 理 化 学 系 実 習	2
○	(必)	〃	合 成 化 学	2	(必)	(必)	〃	生 物 化 学 系 実 習	3
○	(必)	〃	物 理 化 学Ⅰ	2	(必)	(必)	〃	薬 剤 系 実 習	2
○	(必)	〃	生 物 薬 品 製 造 学	2	(必)	(必)	〃	生 薬 学 実 習	1
○	(必)	〃	薬 剤 製 造 学	2	(必)	(必)	〃	放射化学 放射線保健学実習	0.5
○	(必)	〃	量 子 化 学	2	(必)	(必)	〃	機 器 分 析 実 習	0.5
○	(必)	〃	薬 品 製 造 化 学Ⅰ	2	(必)	(必)	特 別 研 究		7

備考 1 選択科目および特別講義は随時変更することがある。
 2 表中、(必)印は必修科目を、○印は選択科目を、△印は本来当該学科の選択科目ではないが、希望により特に選択することのできる科目を表わす。

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
	堀 越 勇	教授(薬学部)に採用する	44. 1. 1	文 部 大 臣
教 学 授 部 (薬 学 部)	三 橋 監 物	学長事務代理を命ずる	44. 1. 6	〃
	竹 松 静 代	教諭(教育学部附属中学校)に採用する (任期44. 1. 22~44. 4. 5)	44. 1. 22	富山大学長
助 手 部 (工 学 部)	北 川 泰 郎	講師(工学部)に昇任させる	44. 2. 1	〃
	東 森 博	事務補佐員(学生課)に採用する	44. 2. 14	〃
文 部 事 務 官 部 (文 理 学 部)	大 畑 憲 司	復職させる 辞職を承認する	44. 2. 26	〃
事 務 補 佐 員 課 (学 生 課)	東 森 博	辞職を承認する	44. 2. 27	〃
教 学 授 部 (薬 学 部)	飯 田 武 夫	評議員の併任を解除する	44. 2. 28	文 部 大 臣
(〃)	永 原 茂	評議員に併任する (任期44. 2. 28~44. 5. 31)	〃	〃
助 教 授 部 (文 理 学 部)	川 井 清 保	教授(文理学部)に昇任させる	44. 3. 1	〃
助 理 学 部 (文 理 学 部)	宮 谷 大 作	講師(文理学部)に昇任させる	〃	富山大学長
	穴 山 彊	助手(教育学部)に採用する	〃	〃
技 能 員 部 (薬 学 部)	高 見 春 男	事務員(薬学部)に配置換する	〃	〃
富 山 大 学 長	横 田 嘉 右 衛 門	辞職を承認する	44. 3. 4	文 部 大 臣
教 学 授 部 (薬 学 部)	三 橋 監 物	学長事務代理を免ずる	〃	〃
教 学 授 部 (文 理 学 部)	竹 内 豊 三 郎	学長事務取扱を命ずる 経営短期大学部学長事務取扱を命ずる	〃	〃
	堀 口 勲	事務補在員(学生課)に採用する	44. 3. 17	富山大学長
	大 崎 秀 雄	同 上 (厚生課)に採用する	〃	〃
文 部 事 務 官 部 (附 属 図 書 館 部)	浅 野 典 子	辞職を承認する	44. 3. 25	〃
講 学 部 (薬 学 部)	長 田 永 三 郎	助教授(薬学部)に昇任させる	44. 3. 30	文 部 大 臣
教 育 学 授 部 (教 育 学 部)	林 勝 次	教育学部長に併任する 評議員に併任する (任期44. 3. 31~46. 3. 30)	44. 3. 31	文 部 大 臣
(〃)	〃	附属中学校長の併任を解除する	〃	〃
(〃)	黒 坂 富 治	附属中学校長に併任する (任期44. 3. 31~45. 3. 31)	〃	〃
教 理 学 授 部 (文 理 学 部)	六 浦 教 乘	昭和44年3月31日限り停年により退職した	44. 4. 1	〃
(教 育 学 部)	上 原 定 清	〃	〃	〃
(薬 学 部)	木 村 康 一	〃	〃	〃
文 部 技 官 課 (施 設 課)	永 井 繁 夫	辞職を承認する	44. 3. 31	富山大学長
文 部 事 務 官 (経 理 部 主 計 課 警 務 員 長)	津 林 繁 信	〃	〃	〃
(文 理 学 部)	野 村 善 一	〃	〃	〃
文 部 技 官 (〃)	菅 谷 孝	〃	〃	〃
教 諭 (教 育 学 部 附 属 小 学 校)	山 崎 正 俊	〃	〃	〃

教諭 (教育学部附属中 学校)	柳 瀬 弥 逸	辞職を承認する	44. 3. 31	富山大学長
助教授 (経済学部)	海 道 勝 稔	〃	〃	文 部 大 臣
〃 (薬学部)	長 田 永三朗	〃	〃	〃
文部事務官 (工学部)	谷 口 久美子	〃	〃	富山大学長
助教授 (短期大学部)	泰 地 靖 弘	〃	〃	文 部 大 臣
〃 (〃)	藤 原 壮 介	〃	〃	〃

学 内 諸 報

大 学 紛 争 の 経 過 (2)

学長は昨年暮から行なわれている学生の本部不法占拠を解除させ、また学生の要求する大衆団交には応じないが、要求事項に関し1月18日全学生職員に学長所見を配布、紛争を収拾するため努力されたが、これを不満とする寮生の一部が1月29日新たに学生会館の学生部仮事務室を封鎖し、2月4・5日薬学部自治会が学部振興会経理問題を取りあげ、学生集会を開き2月15日期限つきでスト態勢を確立し、教養部自治会が2月7日午後から授業放棄ストに突入し、経済学部は2月7日にスト態勢を確立し、2月10日からストに突入、文理学部文学科は2月8日に、同学部理学科は2月14日にそれぞれスト態勢を確立し、文学科は10日から、理学科は17日からストに突入し、薬学部も2月15日からストに突入したので、2月18日(別記)の学長告示を行ない学園を平静にもどすため、大学が提案した全学集会に応ずるよう呼びかけた。

しかし学生側は従来各学部自治会単位で大衆団交を要求していたが、3月にはいり各学部自治会執行部あるいは一部学生により全学大衆団交推進会議なるものを結成し、3月10日午後文理学部前で全学総決起集会を開き、集会後まず教育学部、教養部、続いて文理学部、薬学部各事務室を封鎖したので、五福構内各学部(薬学部除く)事務室を附属学校に移し、3月12日(別記)の学長告示を再度行ない、速やかに封鎖を解いて、早急に全学集会を開くよう学生に要望したのであるが、学生側はあくまで大衆団交の開催を学長および各評議員に要求して譲らず、恒例の卒業式も3月20日に黒田講堂で開くことを中止し、各学部ごとに卒業証明書を授与する異例の処置がとられることになった。

学 生 諸 君 に 告 ぐ

今次紛争については、再三にわたる学長告示を行ない、また、学長所見を発表して当面する諸問題について、学生諸君の理解につとめ、もつて紛争の収拾に努力してきた。

しかるにこと志と異なり紛争は激化の一途をたどり、ついに学年末を控え期末試験、入学試験、卒業式、入学式およ

び会計決算報告などの実施上重大な事態に立ちいたつた。

学生諸君は、この事態を認識し、良識ある行動のもとに一刻も早く本部占拠ならびにストを解除し、学園を平静にもどし大学が提案した全学集会に応ずるよう要望する。

昭和44年2月18日

富山大学長

告 示

過般一部学生が本部を不法占拠し、また、3月10日各学部事務室等が一部の学生によって不法占拠されたことはまことに遺憾です。

これらの学生は直ちにこの占拠を解いて退去することを要求します。

大学は誠意をもつて学生と相互理解を深め大学の当面の問題を解決するために全学生と教官の総意に基づいて集会を早急に開くことを要望します。

昭和44年3月12日

富山大学長事務取扱

竹 内 豊三郎

三橋監物学長事務代理の就任

昭和43年11月12日の反日共系(全学闘争連絡会議)学生によって大学本部が不法占拠されてから、大学の紛争は日増しに激化し、横田学長はこれら紛争の解決に日夜精根をつくされたが、高血圧のおかすところとなり、12月中旬に入院されたため、1月6日付けで三橋監物薬学部長が学長事務代理を命ぜられ、学長紛争の速かなる解決に努力されることになった。

横 田 学 長 の 辞 任

横田学長は昭和19年4月富山薬学専門校長として来任され、同24年富山大学発足と同時に初代の薬学部長となり、爾来連続5回学部長に重任、昭和36年12月20日に第四代目の富山大学長に就任されてから、同44年3月4日に辞任されるまで7年4カ月の永きにわたり富山大学長の要職にあり、大学の発展のため次のような数々の業績を残され、その功績顕著なることを認められ昭和42年11月3日、勲二等

旭日重光章が授与され、このたびの辞任はまことに惜別に堪えない次第であります。

- ① 大学の五福集中計画の一環として文理学部・薬学部・教育学部の新校舎の改築ならびに体育館・学生会館・統合学生寮・計算センター・プールの新設。
- ② 和漢薬研究施設ならびに教養部および大学院薬学・工学研究科（修士課程）の設置。



竹内豊三郎学長事務取扱の就任

横田学長は昨年暮以来、高血圧のため入院加療中であったので、この間三橋薬学部長を学長事務代理とされ、再起をはかられたが、病状が回復しないため2月末辞意を表明された。

協議会は、学内に紛争もあり、止むを得ないものとして学長の辞任を認め、今後の取扱いを協議した結果、竹内文理学部長を学長事務取扱に選出し、学内紛争の收拾に努力することとなり、竹内文理学部長は3月4日付で学長事務取扱に就任された。

昭和44年度入学試験

昭和44年度入学試験は3月23, 24, 25日の3日間（25日は教育学部美術、体育専攻志願者の実技のみ）目下学園紛争による妨害を考慮し、学外5高等学校において実施し、その合格者は4月2日発表された。

各学部の志願者、受験者および合格者等の数は次のとおり。

学 部	学 科・課 程	募集人員	志願者数	受験者数	欠席者数	合格者数	入学者数
文 理 学 部	文 学 科	60	434	252	182	61	61
	理 学 科	125	430	291	139	125	125
	計	185	864	543	321	186	186
教 育 学 部	小 学 校 教 員 養 成 課 程	100	457	340	117	108	※ 97
	中 学 校 教 員 養 成 課 程	50	275	191	84	54	47
	養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	20	72	51	21	23	19
	計	170	804	587	222	185	163
経 済 学 部	経 済 学 科	160	1,324	867	457	183	160
薬 学 部	薬 学 科	50	369	182	187	50	(※) 52(2)
	製 薬 化 学 科	50	329	205	124	50	50
	計	100	698	387	311	100	※ 102(2)
工 学 部	電 気 工 学 科	50	277	208	69	50	50
	工 業 化 学 科	40	180	128	52	40	※ 41(1)
	金 属 工 学 科	40	167	128	39	40	40
	機 械 工 学 科	50	274	176	98	50	(※) 51(1)
	生 産 機 械 工 学 科	40	194	160	34	40	40
	化 学 工 学 科	40	161	127	34	40	40
	電 子 工 学 科	40	215	130	85	40	※ 41(1)
	計	300	1,468	1,057	411	300	※ 303(3)
合 計		915	5,158	3,441	1,717	954	※ 914(5) (※) (3)

(※) 沖縄留学生 3名
 ※ 退学者 5名 共に内数

また経営短期大学の入学試験は、3月15日に実施し、合格者を3月27日に発表した。

なお志願者、受験者および入学者等の数は次のとおり。

区 分	募集人員	志願者数	受験者数	欠試者数	入学者数
経営短期大学部経営科(第2部)	80	153	148	5	81

教育学部長の改選

蜷川教育学部長の任期満了(3月31日)にともなう学部長選挙は2月26日、教育学部において行なわれた。林勝次教授が教育学部長に選ばれ、3月31日に就任された。

林勝次教授は昭和12年3月、日本体育会体操学校生理専攻部を卒業し、直ちに熊本県立第一高等女学校教諭に就任。同13年3月金沢高等工業学校助教授、同19年4月姫路高等学校助教授、同20年10月旧制富山高等学校教授、同24年6月富山大学助教授、同34年5月富山大学教授昇任、同40年12月教育学部附属中学校長に併任、金沢市出身。

教育学部附属中学校長の改選

教育学部附属中学校長林勝次教授の3月31日付けで教育学部長就任されるに伴ない、3月13日教育学部教授会において、附属中学校長に黒坂富治教授が選ばれた。

黒坂教授は昭和11年3月東京音楽学校甲種師範科を卒業し直ちに堀川尋常高等小学校訓導に就任、同年4月富山県立女子師範学校教諭兼訓導、昭和18年4月富山師範学校助教授、同25年4月富山大学助教授、同41年3月富山大学教授昇任。富山県出身。

学内囲碁大会の開催

学内囲碁大会が2月1日(土)午後1時から工学部記念会館で、29名の参加者をA、B、C級に分け盛大に行なわれた。成績はつぎのとおり

A級 優勝	井波勝二	次勝	児島毅
三位	根井仁三郎		
B級 優勝	金坂績	次勝	泉三郎
三位	奥田真一		
C級 優勝	草島幸雄	次勝	奥井三郎
三位	荒屋克子		

教官の外国出張

本年1・2月における教官の外国出張者は次のとおりである。(所属官職氏名、出張期間、出張先国、出張目的の順)

工学部 教授 宮尾嘉寿 44. 1. 23~44. 3. 2
英国, 米国 境界摩擦現象の基礎研究および研究施設の視察。

学位取得者

取得者 工学部教授 村中利吉
取得学位 工学博士
取得年月日 昭和44年3月6日
学位論文 砥粒分刀を円錐台と考えた場合の研削抵抗と研削温度の解析
提出大学 大阪大学

取得者 薬学部助手 中井昇
取得学位 薬学博士
取得年月日 昭和43年12月4日
学位論文 スーメチル-1, 4-ナフトキノンとコウボアルコール脱水素酵素のチオール基との反応
提出大学 東京大学

職員消息

<新任者>

学生部学生課
事務補佐員 堀口 勲
学生部厚生課
事務補佐員 大崎 秀雄
教育学部
助手 穴山 彌
薬学部
教授 堀越 勇

<改姓>

教育学部
教諭 神保 和子 (旧姓・金川)
工学部
文部事務官 前馬 紫津 (旧姓・山本)
附属図書館
文部事務官 浅野 典子 (旧姓・伊井)

<住所変更>

事務局長 佐々木善也
庶務部人事課
課長 木村 寿作
経理部経理課
課長 石井 完
文理学部
教授 横山 泰
文理事務官 野村 善一
教育学部
助教授 藤森 勉
講師 加瀬正二郎
〃 小西 照泰
〃 埴野 謙二
教諭 神保 和子

工 学 部

助 教 授 杉本 益規

文部事務官 前馬 紫津

用 務 員 笠間 とし

文部技官 尾山 吉昭

教 養 部

助 教 授 河野 昭一

附属図書館

文部事務官 浅野 典子

経 営 短 大

助 手 高橋 敏朗

主 要 日 誌

本 部

- 1月6日12日 スキー講習会(志賀高原 プナ平スキー場)
- 13日 評議会
補導協議会と学寮補導委員会との合同会議
- 17日 第5回入学試験管理委員会, 第17回補導協議会
- 23日 補導協議会と学寮補導委員会との合同会議
- 27日 評議会
- 29日 大学問題対策委員会, 評議会, 補導協議会と学寮補導委員会との合同会議
学生会館内の学生部仮事務室が過激派学生のため封鎖
- 30日 補導協議会と学寮補導委員会との合同会議
学生部は黒田講堂貴賓室に仮事務室を移す
- 2月1日 学内囲碁大会 3日 大学問題対策委員会
- 4日 第6回入学試験管理委員会 6日 評議会
- 13日 事務協議会, 補導協議会と学寮補導委員会との合同会議
- 14日 大学院委員会 20日 第18回補導協議会
- 21日 評議会, 大学問題対策委員会
- 24日 評議会 26日 協議会
- 3月3日 評議会 7日 評議会
- 8日 事務協議会 11日 評議会
- 13日 第7回入学試験管理委員会
- 14日 大学院委員会(持廻り)
- 17日 評議会 20日 卒業式(取り止め)
- 23・24日 昭和44年度入学試験(学外にて)
- 31日 第8回入学試験管理委員会

文 理 学 部

- 1月11日 文学科教官会議

12日 第11週授業開始 20日 真率会役員会

22日 教授会, 真率会総会 30日 学部補導委員会

2月・3月の主要日誌は学内紛争のため省略。

教 育 学 部

- 1月11日 附属小学校・中学校始業式
- 13日 学部授業開始, 附属幼稚園始業式
- 21日 補導委員会
- 22日 教務委員会, 第18回教授会
- 24日 拡大教育実習委員会
- 29日 教務委員会, 第11回人事教授会, 補導委員会, 緊急教授会
- 30日 補導委員会, 教育学部長候補者選挙委員会
- 2月7日 教授会 8日 授業終了
- 12日 教授会, 人事教授会
- 13日 附属学校運営委員会 15日 補導委員会
- 19日 補導委員会, 教授会
- 26日 補導委員会, 教務委員会, 学部長候補者選挙
- 27日 教授会 28日 教授会
- 3月3日 教授会 4日 教授会, 人事教授会
- 6日 教授会 7日 特別教職課程委員会
- 8日 附属中学校長候補適任者選考委員会
- 10日 人事教授会 11日 補導委員会
- 13日 教務・補導合同委員会, 教授会, 附属中学校長候補適任者選挙
- 15日 附属小学校卒業式 17日 附属中学校卒業式
- 18日 附属幼稚園修了式 20日 学部卒業式
- 23・24日 入学試験

経 済 学 部

- 1月7日 授業開始
- 13日 教務委員会, 第35回教授会, 人事教授会
- 18日 第36回教授会 21日 職業補導委員会
- 22日 第37回教授会
- 28日 教務委員会, 経済学会委員会
- 29日 第38回教授会
- 2月5日 第39回教授会, 教務委員会
- 7日 経専学生自治会学生大会, 人事教授会
- 12日 第40回教授会, 教務委員会
- 15日 スト突入, 教務委員会 17日 教務委員会
- 18日 第41回教授会 21日 教務委員会
- 22日 学部長室・事務長室・庶務係・会計係・教官控室占拠
- 24~3月1日 後学期末試験ストのため延期
- 25日 第42回教授会, 職業補導委員会
- 3月3日 人事教授会 5日 第43回教授会
- 6日 第44回教授会, 教務委員会

7日 学部補導委員会 10日 学務係封鎖
11日 第45回教授会
12日 教務委員会, 経済学会評議員会, 第46回教授会
15日 第47回教授会 20日 学部卒業式
21日 第48回教授会 23・24日 入学試験
25日 人事教授会
27日 昭和44年度経済学専攻科入学試験

薬学部

1月8日 教授会
9日 授業開始, 薬剤学教授選考委員会
13日 講座主任会議 16日 教授会
18・19日 スキー実習(極楽坂)
22日 教授会 25日 学生予餞会
29日 教授会, 薬学研究科委員会
2月1日 教授会 3日 教授会
5・6日 昭和44年度大学院薬学研究科入学試験(2次)
6日 薬学研究科委員会
8日 薬学部集会(第1回) 10日 教授会
12日 教授会 13日 薬学部集会(第2回)
15日 大学院薬学研究科第2次合格者発表
18日 教授会 19日 教授会, 人事教授会
20日 薬学部集会(第3回) 22日 教授会
24日 教授会 25日 薬学部集会(第4回)
27・28日 教授会
3月1日 教授会 4日 薬学部集会(第5回)
6日 木村康一教授最終講義(於, 富山県民会館)
7日 教授会 8日 教授会, 薬剤学教授選考委員会
10日 薬学部1号館1階一部学生により封鎖
13日 教授会
18日 昭和43年度大学院薬学研究科修士課程修了証明書交付
19日 人事教授会, 薬剤学教授選考委員会
20日 学部卒業式 22日 人事教授会
23・24日 入学試験 28日 教授会
29日 生物試験部門教授選考委員会

工学部

1月8日 一般教授会 22日 一般教授会, 専任教授会
29日 一般教授会, 専任教授会, 工学研究科委員会
30日 一般教授会
2月5日 選考委員会, 専任教授会
7日 一般教授会, 専任教授会
19日 補導委員会, 一般教授会, 専任教授会
20日 補導委員会, 一般教授会, 研究科委員会
21日 補導委員会 24日 補導委員会
25日 一般教授会 26日 補導委員会

27日 一般教授会, 補導委員会 28日 一般教授会
3月5日 一般教授会
7・8日 昭和44年度大学院工学研究科入学試験
10日 工学研究科委員会 12日 補導委員会
14日 一般教授会
15日 大学院工学研究科合格者発表
19日 専任教授会 20日 学部卒業式
23・24日 入学試験

教養部

1月10日 教授会(第19回) 13日 授業開始
16日 教務委員会 18日 教授会(第20回)
22日 人事教授会, 教授会(第21回)
29日 教務委員会 30日 教授会(第22回)
2月5日 教授会(第23回) 7日 教授会(第24回)
12日 教授会(第25回)
15日 教授会(第26回), 後期授業終了
17日 教授会(第27回) 19日 教授会(第28回)
19~26日 後期末試験(専門学部在籍学生)
25日 教授会(第29回)
3月1日 人事教授会 4日 教授会(第30回)
8日 教授会(第31回) 15日 教授会(第32回)
22日 紀要編集委員会 24日 人事教授会
31日 教務委員会, 教授会(第33回), 人事教授会

附属図書館

1月10日 事務打合会(第5回)
13日 時間外開館開始 27日 本館内事務打合会
2月14日 本館内事務打合会 18日 増加図書月録発行
24日 事務打合会(第6回)
3月8日 時間外開館休止
13日 情報活動講習会(県立図書館)

経営短期大学部

1月10日 授業開始 17日 入試問題作成委員会
21日 教授会, 教官選考委員会 30日 授業終了
2月3~8日 期末試験 4日 教官選考委員会, 教授会
10日 春季休業 13日 教官選考委員会, 教授会
15日 予餞会(学生会館) 18日 教官選考委員会
20日 教授会, 教官選考委員会
20~3月1日 入学願書受付
3月6日 入試問題作成委員会 7日 教授会
13日 教官選考委員会 15日 入学試験, 教授会
17~18日 入試問題作成委員会 20日 卒業式
22日 教官選考委員会 25日 編入学試験
27日 教官選考委員会, 教授会, 入学試験合格者発表